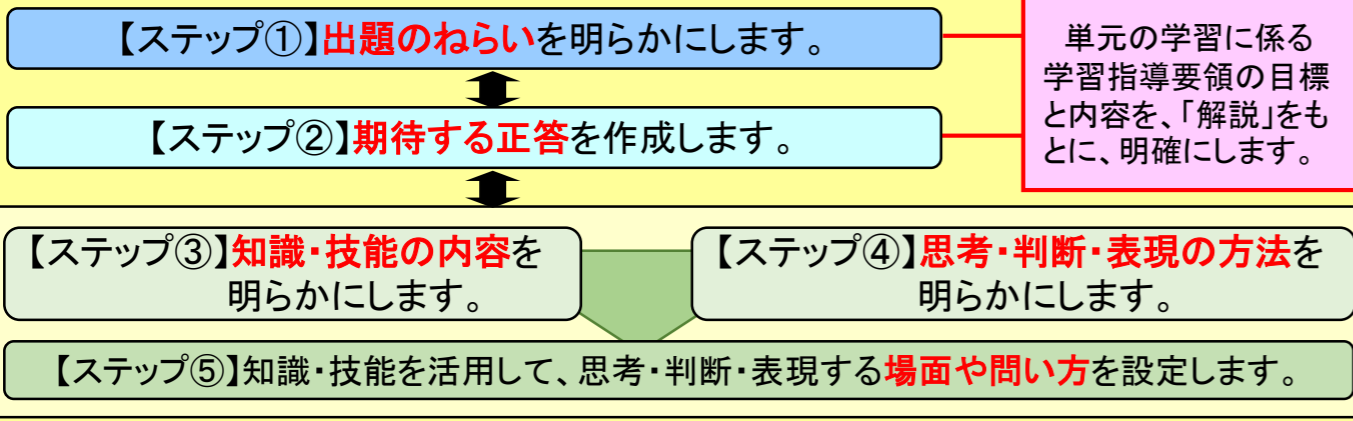


思考力・判断力・表現力を問う定期考査問題づくりのヒント ～ねらいに応じた問いづくり～ <国語>

定期考査は、生徒の学習状況を把握し、学習指導の改善・充実を図る大変重要なものです。特に、思考力・判断力・表現力を問う定期考査問題をつくるには、次に示す【ステップ①】～【ステップ⑤】の定期考査問題づくりの構造を踏まえることが大切です。

定期考査問題づくりの構造



ここでは、令和2年度の県立高校入試問題 三 (登場人物の設定の仕方についての問題) を用いて、主に基礎的・基本的な内容を問う問題と主に思考力・判断力・表現力を問う問題の作成のポイントを紹介します。

三 三

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点は字数として教えること。

〔こまでのあらすじ〕己之吉・お園夫婦の営む料理店「川瀬」をひいきにしてくれていた歌舞伎役者市川海老蔵が、お咎めを受け江戸追放になった。早急ご赦免を願い、己之吉は大好きな酒を断ち、お園は波除け神社に参り、お百度を踏んだ。八年後、お咎めが解け、海老蔵は江戸へ戻った。己之吉は海老蔵がいつ店を訪れてもいように、もてなす準備をしていた。だが、海老蔵はまだ訪れない。己之吉は不安になってきた。

〔本文省略〕

〔お不動様のご利益〕
お園が、己之吉の脇をすり抜けながら耳元に囁いて行った。
「波除け様だろう。」
口の中で、己之吉は呟く。

(竹田真砂子『七代目』による。一部改変)

問三 次の文章は、本文中の「お不動様のご利益」「己之吉は呟く」から、己之吉とお園の二人の関係を通して読み取れるお園の人物設定についてまとめたものである。ア、イに入る最も適当な語句をアは五文字以内でイは二文字で、それぞれ考えて書け。

〔お園の人物設定〕 妻として己之吉をア人物として設定されている。

*根拠Ⅰ 「お不動様のご利益」と己之吉に囁くことで、今日を迎えることができたのは、己之吉の労によるものと伝えていることが分かるから。

*根拠Ⅱ お園の言葉に対して「波除け様だろう」と呟くことで、今日を迎えることができたのは、自分ではなく、お園によるものだとして、己之吉がお園にイの思いを抱いていることが分かるから。

文学的文章における登場人物の設定の仕方について、次の2つの問題を比べてみます。左が「人物相互の関係に基づいた行動や会話の描写をもとに、心情を問う問題」、右が「人物相互の関係に基づいた行動や会話の描写をもとに、人物設定を問う問題」です。

	主に基礎的・基本的な内容を問う問題	主に思考力・判断力・表現力を問う問題
ねらい	本文中の行動や情景の描写に着目し、登場人物の心情を捉えることができる。	登場人物の人物像や相互関係を捉え、考えたことをふさわしい言葉で表すことができる。
問題	己之吉のお園に対する感謝の気持ちが表れている会話文として、最も適当なものを本文中から書き抜きなさい。	三 (問三) ※実際に出題された問題
答え	「波除け様だろう」	ア 支える イ 感謝



人物の言動や情景を根拠に心情を捉えるという知識が必要

登場人物の人物像や相互関係を捉え、ふさわしい言葉で表す表現力が必要

ねらいに応じた問い方の工夫

〔「お園の人物設定」をまとめたもの、という場面の設定〕

- 己之吉・お園それぞれの、互いに対する心情を表した叙述を根拠に、二人の関係を考えて【お園の人物設定】をまとめるという場面を設定することで、登場人物の人物像と相互関係を捉えることができますようにします。

〔「答え方を指定」〕

- 前後の文脈をヒントとすることができます。
- 表現する際の条件(形式等)を整えて提示することで、考えやすくなります。

※「根拠Ⅰを参考に、根拠Ⅱを書け。」や「根拠Ⅰ及び根拠Ⅱを参考に、【お園の人物設定】を考えて書け。」といった記述式の問題も考えられます。

己之吉の心情 お園の心情

同じ題材であっても、ねらいを明確にして、ねらいに応じて問い方等を工夫すれば、思考力・判断力・表現力を問う問題をつくることができます。このような問題が解けるようになる生徒を育てる授業づくりが何より大切です。

